

衆院解散 総選挙へ



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2014年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。

「安倍政治」に審判 14日投票

衆院は21日午後の本会議で解散された。これを受け政府は臨時閣議で衆

院選日程を「12月2日公示—14日投開票」と決定。安倍晋三首相が掲げる経



衆院が解散され、万歳する議員＝21日午後1時14分、衆院本会議場

済政策「アベノミクス」継続の是非が大きな争点となる。与野党は、第2次安倍政権による集団的自衛権の行使容認を含む安全保障政策や、原発再稼働、特定秘密保護法の施行をめぐる議論も展開する見通しだ。「安倍政治」への審判となる。

衆院選は自民、公明両党が民主党から政権を奪還した2012年12月以来。「1票の格差」是正により小選挙区は定数5減の295、比例代表180の計475議席で争われる。解散時勢力で過半数を大きく超えていた自民党の「1強」状態が継続するのかがどうも焦

点となる。

選挙戦で首相は金融緩和、財政出動、成長戦略を一体的に進めるアベノミクスがデフレ脱却への「唯一の道」と訴える。民主党など野党は「経済失政」で過度な円安などを招いたと批判。解散の理由に「大義がない」と主張する。

首相は来年10月に予定していた消費税率10%への引き上げを17年4月まで1年半延期すると決め、この方針について国民の信を問うとした。21日午前の閣議で首相と全閣僚は解散の閣議決定書に署名。衆院本会議で伊吹文明議長が解散詔書を読み上げた。